

令和7年度 技術科 授業改善推進プラン

大田区立蒲田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・多くの活動において概ね意欲的に取り組むことができた。

(2) 課題

- ・より実践的な知識や技能の定着を図る。
- ・個々にあった課題解決の方法を考える能力を身に付けさせる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
工業製品についての材料や加工方法の知識は得られているが、環境や需要との関連を深く理解させ、使いこなせる力を身につけさせる。	授業での難解箇所の理解を確実にするため、インターネットも活用して多角的な思考を促し、発表する力を身につけさせる。	学習の成果を課題研究として発表する事には不慣れな段階である。主体的に取り組んだ課題を、伝達し共有できる力をつけさせたい。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
パワーポイントのスライドショーで学習成果の発表の技能を習得させたい。 将来に活用できる能力を身に着けさせたい。	・電子回路の構成をラジオの製作を通じて体得させる。 ・システムティックな考え方を習得させる授業の展開を図りたい。	レポートの作成を通じて、体系的にものごとを整理・把握し文章として構成、プレゼンテーションできる能力を身につけさせて行きたい。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活の中にある技術的な知識や内容を把握させ、理解させる。	製作中に適正な判断が自らできるように個別指導をする。	生活に役立つ教材を抽出し興味・関心を高める。